アクティブラーニング型プログラム 2025年概要書

■タイトル：

南三陸SDGs アクティブラーニング④持続可能な社会に必要な山林と林業

南三陸町の面積の約8割は山林です。山の峰を結んだ稜線が町の境界線となっており、町に降った雨は山に浸透して川に集まり、里を潤し、そして海に注がれます。つまり山が良い状態であれば、川下である里や海も守られ、私たちは様々な恵みを享受できます。反対に山が悪い状態であれば、里や海には土砂災害や濁り水などの悪影響が及びかねません。持続可能な社会に必要な山林や林業について学び、自分たちの生活の中でどのような山の資源が使われているのか、より良い活用の方法を一緒に考えます。

■料　　金：1名3,630円（税込）
■所要時間：120分(2時間)
■定　　員：25名～100名
■開催場所：町内公民館ほか
■内　　容：

①イントロダクション（30分）
・南三陸町の林業やFSC®認証、山林の多面的機能について理解を深める

②グループワーク（40分）
・身の回りの木製品をピックアップ＆木質利用への転換アイデアを検討する

③発表、まとめ、質疑応答（50分）
・今日の学びを振り返る

■プログラムの背景

2011年の東日本大震災で海辺は大きな被害を受けましたが、山は無事でした。海、里が危機的状況に陥った際に山が支えとなれるよう、南三陸町内の林業事業体が一致団結して南三陸森林管理協議会が発足。2015年に国際森林認証のFSC®認証を取得し、持続可能かつ責任のある山林管理および木材生産を実現すべく日々協議を重ね、様々な取り組みを行っている。

■関連するSDGsのゴール
・7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに
・12.つくる責任つかう責任
・13.気候変動に具体的な対策を
・14.海の豊かさを守ろう
・15.陸の豊かさも守ろう